

# New Products Review

これは買い!?  
気になる新製品をいち早くテストする!



USBカメラが付属するB5コンパクトサイズのノートPC  
**FMV-BIBLO MC2/40**

各種コンバーターレンズが使える廉価版200万画素ズームモデル  
**COOLPIX800**



世界最小サイズの200万画素3倍ズームモデル  
**PowerShot S10**

QuickTime movie形式で動画も撮れる手軽なデジカメ  
**DSC-X200**



V.90/K56flex モデムを内蔵したIPルーター  
**NetGenesis Plus**

ボールの代わりに光学式センサーを搭載したマウス  
**IntelliMouse Explorer**



IPPに対応したプリンター直結型プリントサーバー  
**jetLAN 3100**

インターネットからダウンロードした曲を練習できる電子キーボード  
**光ナビゲーションキーボード**



素材作りからページ編集、サイト管理までをトータルにサポート  
**ホームページビルダー  
2001**

USBカメラが付属するB5コンパクトサイズのノートPC

# FMV-BIBLO MC2/40

## Check!

取り外せる25万画素CCDカメラを搭載  
ボタン1つでメールが受信できるワンタッチボタンを装備  
付属のペンでポインターが操作できるタッチパネル付き液晶

富士通からFMV-BIBLO MCシリーズの後継機種「MC2/40」が発売される。A5サイズのコンパクトボディがモバイルユーザーに人気のシリーズだが、今回のモデルからサイズがひと回り大きくなり、B5サイズとなった。

USBに接続するCCDカメラを搭載

重量も1.4kgと従来モデルより200g重くなったが、その代わりにキーピッチは従来の15mmから17mmへと拡大し、液晶ディスプレイは8.4型から10.4型へと大型化したため、使いやすさは格段に向上した。ただし、表示解像度は800×600ドットのままで、付属のペンで画面に直接触れるだけで操作できる「タッチパネル機能」は、今回のモデルでも継承されており、内蔵ポインティングデバイスは「クイックポイント」へと進化した。クイックポイントでは、従来パームレストの中央にあったポインティングデバイスがキーボード内へと移動したため、キーボードから手を離すことなくポインターを操作できるようになった。

さらに、今回のモデルからはUSB接続のCCDカメラが標準で搭載された。このカメラは画素数が25万画素で、静止画撮影のほか、ネットミーティングの動画送信やビデオメールといった用途にも利用できる。

そのほか、V.90/K56flex準拠の56KbpsのFAXモデムや、携帯電話とケーブル1本で直結できる携帯電話接続インターフェイスを内蔵しているため、外出先でも簡単にインターネットに接続できる。また、携帯電話接続インターフェイスは、携帯電話に登録されている電話番号や名前をPCで編集する機能にも対応している。

## 試用レポート

### ①撮った動画を即座にメールで送信できる

付属のCCDカメラは、本体右側面のUSBポートに接続する。このカメラの左側面にはUSBコネクタがあり、本体に直接差し込めるので接続ケーブルは不要だ。カメラは静止画と動画の両方を撮影でき、付属のソフト「FMキャプチャ」を利用すれば簡単に操作できる。FMキャプチャはQuickTime 4に似たインターフェイスのキャプチャーソフトで、動画や静止画の撮影だけでなく、撮影したファイルを再生したりメールで送信したりもできる。メールで送信する際のファイル形式は、独自のFJV形式とMPEG1形式の2つから選択でき、FJV形式で送信する場合は、再生ソフト「FJV Video Player」を添付できる。

### ②ワンタッチボタンを搭載

今回のモデルからMCシリーズにもワンタッチボタンが搭載された。ボタンは本体前面に配置されており、液晶画面を閉じたままでも操作ができる。このボタンはブラウザの起動やメールのチェックができ、アプリケーションの登録もできるので、よく使うソフトを割り当てておくとも便利だ。また、ボタンの右側にはLEDがあり、メールが着信するとLEDが点灯して教えてくれる。

なお、MCシリーズにはキーボードに親指シフト採用し、ワープロソフト「OASYS」をインストールしたモデルも用意される。親指シフトユーザーには嬉しい配慮だ。(編集部)

発売元	株式会社富士通
価格	オープンプライス
問い合わせ先	0120-89-4321
本体寸法	W250mm × D199mm × H30mm
重量	1.4kg
CPU	Intel モバイルCeleron プロセッサー 400MHz
メモリー	標準 64MB SDRAM (最大 192MB)
ディスプレイ	10.4型 TFTカラー液晶 (800 × 600ドット)
ビデオチップ	MagicGraph1 28XD
ハードディスク	6.4GB
インターフェイス	CardBus 対応 PCMCIA TypeII スロット × 1、外部CRT端子、マイク入力、ヘッドホン出力、赤外線通信ポート、V.90/K56flex モデム、携帯電話接続端子、USBポート × 2

Jump www.fujitsu.co.jp



従来モデルよりもサイズがひと回り大きくなったが、液晶画面の大型化、キーピッチの拡大、ポインティングデバイスの改良などにより操作性は向上している。



本体左側面：左から電源コネクタ、モデム、携帯電話インターフェイス、IrDAポート、Type PCカードスロット



本体右側面：左から音量ボリューム、ヘッドホン出力、マイク入力、電源スイッチ、USBポート、ビデオ出力、CCDカメラ接続用USBポート(一般のUSB機器も接続可能)



本体前面：左から電源ボタン、液晶インジケータ、Aボタン、Internetボタン、E-mailボタン。Aボタンには好きな機能を割り当てられる。



付属のキャプチャーソフト「FMキャプチャ」の画面。MAPI対応のメールソフトを使って、撮影した動画をメールで送信できる。

発売元	株式会社ニコン
価格	89,000円
問い合わせ先	03-3216-1010
本体寸法	W119mm x D61mm x H69mm
重量	260g
付属品	8MBコンパクトフラッシュカード、ソフトケース、ストラップ、レンズキャップ、フェライトコア、ビデオケーブル、単3形アルカリ乾電池4本、取扱説明書

Jump www.nikon.co.jp

ズーム比を2倍に抑えたことで、レンズ奥行きを実用範囲に抑え、より高い周辺解像力を実現している。



ニコンから2倍ズームレンズを搭載したCOOLPIX800が発売される。新開発のマルチオートホワイトバランスの採用により、上位機種のコOLPIX950を凌ぐ高画質を達成。また、状況に応じてISO 100~400まで感度が自動的に変わるモードや、30コマ/秒で1/4VGAサイズの画像を40連写できるウルトラハイスピード機能が新たに搭載され、200万画素クラスのズームコンパクトとしてはリーズナブルな価格設定ながらも、非常に魅力的なモデルに仕上がっている。



バッファメモリー搭載により、1~2秒間隔で連写できるので、次々と訪れるシャッターチャンスに対応できる。また、2倍とはいえずームがあると、構図に変化を付けやすい。

各種コンバーターレンズが使える廉価版200万画素ズームモデル

# COOLPIX 800

Check!

38~76mm相当の2倍ズームレンズ搭載  
長時間の使用が可能な省電力設計  
3種類のコンバーターレンズを装着可能

正統派  
2倍ズームモデル  
発売直後から人気が爆発し、現在でも品薄状態が続くニコンCOOLPIX950。しかし、その一方でレンズが回転する独特のフォルムに違和感を持つ人も少なくない。ニコンCOOLPIX800は、こ

うした人たちの要望に応えたコンベンショナルなスタイルの200万画素ズームコンパクトカメラだ。

レンズは38~76mm相当の2倍ズームとなっている。沈胴式では十分な光学性能が出せないというニコンのデジカメ開発陣のこだわりから、固定式の鏡胴が採用されているが、パッと見た目には、単焦点モデルのCOOLPIX700にそっくりで、ちょっとレンズ部のボリュームが増した程度のサイズアップに抑えられている。また、COOLPIX950用の3種類のコンバーター

レンズ(フィッシュアイ、ワイコン、テレコン)がダイレクトに装着でき、8~152mmまで画角変化を楽しめるのも魅力だ。

## 試用レポート

① マルチオートバランスの採用で高画質を達成

COOLPIX800のCCDは、1/2インチ211万画素補色タイプで、基本的にCOOLPIX950や700に搭載されているものと同じものだ。しかし、基本感度はISO80から100へとアップし、必要に応じて感度がISO100~400まで自動で変わるモードも新設された。わざわざ手動で感度を変更しなくても、低照度時にノーストロポで撮影する際には、自動的に感度アップして撮影できるので便利だ。

また、新開発のマルチオートホワイトバランスが搭載されたことにより、従来よりも安定した色調で撮影できるようになった。これは、被写体と背景を識別して撮影シーンの色情報を分析することにより、最適なホワイトバランスを決定するという機能で、確かに妙な色調に陥るケースはほとんどなかった。

電源は単3形アルカリ電池4本で、液晶モニター使用時でも100分の撮影が行える省電力設計だ。ニッケル水素充電電池を使えば、さらに長時間の連続使用が可能となる。グリップも大型で非常にホールディング性が高いのが印象的だ。(伊達淳一)

## COOLPIX800

レンズ	38~76mm相当 (35mmフィルム換算)
CCD	1/2インチ211万画素
記録メディア	コンパクトフラッシュカード
記録枚数(8MB)	HI 1枚、FINE 8枚、 1600x1200ピクセル NORMAL 16枚BASIC 32枚
液晶モニター	1.8型低温ポリシリコンTFT液晶
電源	単3形アルカリ電池4本



ホワイトバランスを蛍光灯にセットすることで、夕焼けの赤みを強調してみた。単なるお手軽なだけではなく、さまざまな機能を駆使する楽しさもあるデジカメだ。

世界最小サイズの200万画素3倍ズームモデル

# PowerShot S10

**Check!**

コンパクトなフルメタルボディー  
シーン別プログラムAEを搭載  
コンパクトフラッシュ&マイクロドライブに対応

キヤノンのPowerShot S10は、200万画素クラスのズームコンパクトモデルとしては世界最小サイズのデジタルカメラだ。沈胴式2倍ズームを搭載しており、収納時には完全にフラットになる。アルミ合金のフルメタル外装により、カメラとしての質感あふれるボディーに仕上がっているのが特徴だ。

高級コンパクトカメラの風格を備えたデジタルカメラ

キヤノンPowerShot S10は、高級コンパクトカメラの風格が漂うデジタルカメラだ。CCDは1/2インチ211万画素の補色タイプで、35～70mm相当の沈胴式2倍ズームレンズを搭載している。

従来の「PowerShot A5 Zoom」や「PowerShot A50」は、28mmをカバーするズームを搭載しているのがセールスポイントの一つだったが、S10は200万画素化に伴い、CCDが1/3インチから1/2インチへとサイズアップしたため、レンズの大型化と光学性能の低下を避けるため、ワイド端が35mmと抑えられてしまった。しかし、その英断の結果、ボディーの厚みは130万画素のA50よりも3mmほどスリムになり、レンズバリアのデザインが変更されたこともあって、精悍さがグンと増している。ボディーサイズではかなわないものの、「ライバルはIXY」という広告のコピーどおり、十分IXYに匹敵する質感を備えたといえるだろう。

## 試用レポート

①CF Type スロットを搭載しマイクロドライブにも対応

記録メディアはコンパクトフラッシュで、CF Type スロットを備えているので、IBMの

マイクロドライブも使用できる。また、バッファメモリーを搭載することでシャッターインターバルが短くなり、約2秒間隔で速写できるようになった。AFスピードもわずかながら速くなり、コンパクトカメラとしては十分快適に使用できる。

画像はコントラストが高く、メリハリのある絵づくりでカラッとした色再現だ。補色CCDを採用していることもあって、色の深みにはちょっと欠ける感じだが、輝度の変化に対して色相が崩れてしまうこともなく、非常に素直な描写を見せる。

撮影シーンに応じて最適な露出制御を行うイメージモード機能を備えていて、「風景」、「高速シャッター」、「スローシャッター」、「夜景」、「白黒」の5種類のプログラムAEを選択できる。また、必要に応じて感度を2倍、4倍にアップする機能やスポット測光、パノラマモードなど、多彩な撮影機能を備えている。

電源は従来どおり2CR5タイプのリチウム電池を使用する。ランニングコストを考えると別売の電源キットを購入して、普段は専用のニッケル水素充電電池を使用し、不意の電池切れのときだけリチウム電池を利用するのが賢い使い方だ。（伊達淳一）

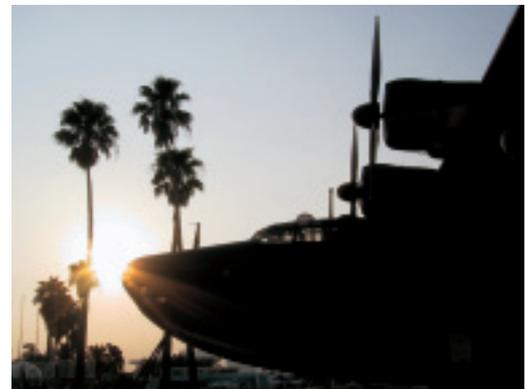
## PowerShot S10

レンズ	35～70mm相当 (35mmフィルム換算)
CCD	1/2インチ211万画素
記録メディア	コンパクトフラッシュカード
記録枚数(8MB)	Super-Fine8枚、Fine12枚、 1600x1200ピクセル NORMAL16枚
液晶モニター	1.8型低温ポリシリコンTFT液晶
電源	専用ニッケル水素充電電池、 リチウム電池(2CR5)

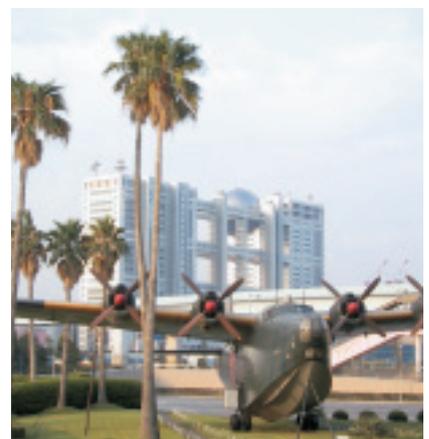
発売元	キヤノン株式会社
価格	89,800円
問い合わせ先	0570-01-9000
本体寸法	W105.4mm x D33.8mm x H69.4mm
重量	270g
付属品	リチウムバッテリー2CR5、8MBコンパクトフラッシュカード、ビデオケーブル、ストラップ、取扱説明書

Jump [www.canon.co.jp](http://www.canon.co.jp)

レンズバリアのデザインが変更されて、レンズ収納時のルクスもさらに精悍になった。



手前の飛行機をシルエットにするため、マイナス1の露出補正をして撮影。メニューや操作ボタンが一新され、瞬時に露出補正が行えるようになったのは快過。



2倍とはいえ望遠側にズームすると遠近感が弱まるので、自然な遠近感で被写体を写すことができる。夕方の光で撮影したが、非常にカラッとした色再現だ。

発売元	三洋電機株式会社
価格	オープンブライス
問い合わせ先	0720-70-4184
本体寸法	W117mm x D40mm x 64mm
重量	195g
付属品	単3形ニッケル水素充電電池2本、充電器、4MBスマートメディア、ストラップ、ビデオケーブル、取扱説明書

Jump www.sanyo.co.jp

QuickTime形式で動画も撮影できる手軽なデジカメ

# DSC-X200

Check!

シャッターチャンスを逃さない0.8秒の高速記録  
日本語化されたわかりやすい操作メニュー  
最大120秒の動画の撮影が可能



コンパクトカメラを意識した、手になじむ丸みを帯びた特徴的なデザイン。



液晶には機能が日本語で表示されるため、誰にでも簡単に操作できる。



色再現性に優れた原色系プログレッシブCCDを採用。85万画素ながら十分な画質を確保している。



動画はQuickTime movie形式で記録される。QuickTime 3以降がインストールされているPCやMacですぐに再生が可能だ。

三洋電機の「DSC-X200」は、今年2月に発売された85万画素デジタルカメラ「DSC-X110」の後継モデルだ。デザインはDSC-X110の角張ったものから、全体的にやや丸みを帯びたデザインへと変更され、ボディカラーもプラチナホワイトとなった。ボディは前面を除いてプラスチックへと素材が変更されたため、サイズがわずかに大きくなったが、重量は5グラム軽量化されている。

## 軽快な動作の単焦点モデル

レンズカバーを開くだけですぐに撮影ができる軽快な動作は今回のモデルでも失われておらず、起動からわずか1秒ほどで撮影準備が完了する。また、撮影間隔も0.8秒と超高速なので、シャッターチャンスを逃がさない。さらに、「連写モード」ではXGAサイズの画像が0.2秒間隔で20枚まで連続で撮影できるので、連写した画像をその場で確認し、欲しい画像だけを残して他は削除するというデジタルカメラならではの撮影が可能だ。記録メディアにはスマ

ートメディアを採用しており、64MBまでのものに対応している。また、操作メニューは日本語化され、撮影した画像にひらがなやカタカナのコメントを入力できる「文字入力機能」も搭載された。

## QuickTimeで動画も撮れる

以前から好評の動画キャプチャーは、記録形式が従来のMotion JPEG形式からQuickTime movie形式へと変更された。画面サイズは従来同様、320×240ピクセルのSモードと160×120ピクセルのEモードの2モードで、どちらも15フレーム/秒となっている。撮影時間はSモードで30秒、Eモードならば最長120秒までの動画が撮影できる。さらに、撮影した動画はカメラを使ってその場で編集もできる。

## 試用レポート

### ①85万画素ながら十分な画質

気になる画質だが、プログレッシブ原色CCDを採用しているため、色味が自然で画像もシャープな印象だ。CCDは85万画素のため、画像サイズは1024×768ピクセルと小さいが、ちょっとした記録撮影には手頃なサイズだろう。また、別売りのパソコン接続キットに付属のソフト「AGFA PhotoGenie」を利用すれば、画質を保ったまま130万画素相当(1280×960ピクセル)のサイズに拡大もできる。

もちろん、画質は200万画素クラスの最新デジタルカメラには及ばないが、気軽に撮影するには十分な性能だ。普段から鞆の中に収めておき、使いたいときにサッと取り出して撮影できる、使い切りカメラのような手軽なデジタルカメラだ。(編集部)

## DSC-X200

レンズ	43mm相当 (35mmフィルム換算)
CCD	1/3インチ85万画素
記録メディア	スマートメディア
記録枚数(8MB) 1024×768ピクセル	SHi1 15枚、SHi2 24枚
液晶モニター	1.8型低温ポリシリコンTFT液晶
電源	単3形ニッケル水素充電電池2本

V.90/K56flex モデムを内蔵したIP ルーター

# NetGenesis Plus

**Check!**

アナログ専用線対応のモデムを内蔵  
TAを接続すればISDNルーターとして利用可能  
多彩なLAN管理機構を備えた本格派IPルーター

昨年の4月、モデムでお馴染みのマイクロ総合研究所がIPルーター「NetGenesis 4」を発売したときから、すでにモデムを内蔵するアイデアは存在していた。シリーズ3作目となる「NetGenesis Plus」で、この発想がついには実現した。業界初のパーソナルアナログIPルーターの誕生だ。

モデムを内蔵したIPルーター

NetGenesis PlusはV.90/K56flex対応モデムと10BASE-Tの4ポートHUB、460.8Kbpsの高速シリアルポートを内蔵し、NAT/IPマスカレード、DHCPサーバー機能、ProxyDNS、SNTPクライアント/サーバー機能、パケットフィルタリング機能などを搭載したIPルーターだ。内蔵モデムを使ってのインターネットへのダイヤルアップ接続はもちろん、シリアルポートにTAを接続すればISDNルーターとしても使える柔軟性のあるルーターだ。リモートアクセスサーバーとしての機能も備えているので、TAをシリアルポートに接続してアナログ、ISDN両用のアクセスポイントとしての運用もできる。ここまで機能が充実してくると、RADIUS機能がないのが残念に思えてくる。

アナログ専用線よ再び

NetGenesis Plusの内蔵モデムはKeep alive機能に対応しアナログ専用線でも使える優れものだ。短距離の専用回線ならば、アナログ専用線(3.4KHz、10kmまで)は月額12,000円で利用でき、デジタルアクセス64(タイプ1、15kmまで)の28,000円/月よりも圧倒的に安い。たとえば、SOHOクラスのネットワークで少し離れた場所にもう1か所オフィスが増えたときなど、アナログ専用線を使えば安価にLAN間接続が実現



できる。もちろん、

LANといってもアナログ回線なので低速だが、インターネットへのアクセスやメールの送受信程度ならまったく問題ないだろう。ただし、アナログ専用線でのサービスを安価に提供しているプロバイダーは皆無なので、直接インターネットに接続するには向いていない。あくまでもLAN間接続用だ。

## 試用レポート

### ① 改めて56Kモデムの実力を知る

NetGenesisシリーズは、ブラウザを使った設定に対応していないため、設定には「NetGenesisセットアップユーティリティ」(ウィンドウズ版のみ)を使う。内蔵のsyslog機能で通信状態を逐一確認できるので、トラブル時の解決も容易だ。プロバイダー(リムネットを利用)の設定を済ませて接続テストを行ってみた。右のグラフはウィンドウズ98のFTPコマンドでファイルを転送し、その速度を測ったものだ。ISDN回線の64Kbpsの速度にはかなわないが、そこそこの速度が出せているのがわかるだろう。テキストのダウンロードではV.42bis圧縮の効果で8.9Kバイト/秒が出ている。実際のインターネットアクセスではこの数値通りにはいかないが、けっこう使えるという印象だ。なお、モデムの接続に時間がかかってしまい、自動接続の設定でもブラウザがタイムアウトしてしまうが、これはモデムを使う以上避けられない問題だ。

発売元	株式会社マイクロ総合研究所
価格	オープンプライス(直販価格:22,800円)
問い合わせ先	03-3458-9021
本体寸法	W228mm x D143mm x H30mm
重量	830g
付属品	ツイストペアストレートケーブル、モジュラーケーブル、ACアダプター、クイックスタートガイド、CD-ROM(セットアップユーティリティ&マニュアル)、保証書

Jump www.mrl.co.jp

シンプルな四角いデザイン。HUBのランプやモデム、シリアルポートのインジケータが並び、

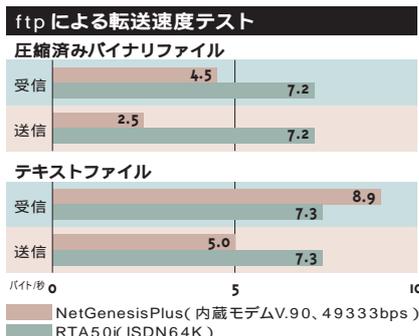


左から、電源スイッチ、ACアダプター、シリアルポート、モデムポート、4つのHUBポートが並び、

### ② アナログ回線ユーザーにおすすめ

NetGenesis Plusは単独ではアナログルーター、TAをつなげばISDNルーターになる。しかし、NetGenesis Plusの本領はモデムとアナログ回線の利用にあるといってもいいだろう。「アナログ回線でルーターが使いたい」、「リモートアクセス用のアナログ回線アクセスポイントが必要」、「アナログ専用線を使いたい」といったユーザーにおすすめなのがこのNetGenesis Plusだ。

(梅垣まさひろ)

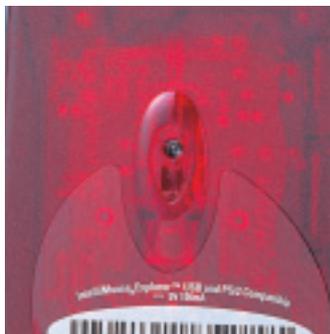


FTPコマンドによる転送速度テストの結果。ヤマハのISDNルーターRTA50iと比較して測定した。測定結果は、リムネットに平日の昼間に接続した5回の試行の平均値。NetGenesis PlusはV.90の49333bps接続、RTA50iは64Kbps。

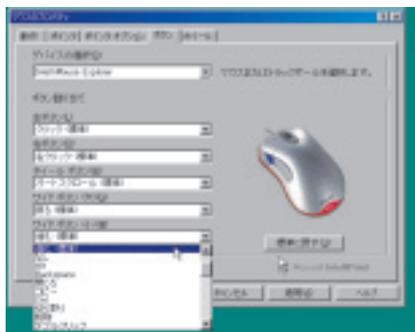
発売元	マイクロソフト株式会社
価格	オープンブライス (店頭予想価格 9,800円)
問い合わせ先	03-5454-2300

**Jump** [www.microsoft.com/japan/hardware/](http://www.microsoft.com/japan/hardware/)

左側面に好きな機能を割り当てられるボタンが2つ追加されている。ボディーカラーに「チタンシルバー」を採用し、マウスの動作中はテールの部分が赤く光るなど、凝ったデザインも特徴だ。



マウスの動きを検出する光学センサー「インテリアイ」。赤色LED(下)から照射された光が接地面を反射し、その光をカメラ(上)が読み取ることによって移動量を検出する。



付属のドライバーソフト「IntelliPoint 3.0」の画面。すべてのボタンに好きな機能を割り当てられる。

マイクロソフトと聞くと、「ソフトウェアメーカー」というイメージが非常に強いが、マウスやキーボード、ジョイスティックなどのハードウェアも数多く発売している。今

ボールの代わりに光学式センサーを搭載したマウス

# IntelliMouse Explorer

**Check!**

光学式センサーの採用でメンテナンスが不要  
機能を割り当てられるファンクションボタンを搭載  
手のひらにフィットするエルゴノミクスデザイン

再発売された「IntelliMouse Explorer」は、光学式センサーを利用した画期的なマウスだ。

メンテナンス不要の光学式マウス

今までも各社から光学式のマウスは発売されていたが、それらは移動量を検出する細かいグリッドの引かれた専用のマウスパッドの上でしか利用できないものだった。

IntelliMouse Explorer では、マウスの底面に設置された赤色LEDで接地面を照射し、その反射光を内蔵の小型カメラで1秒間に1500回のスピードで撮影して、その画像の変化をDSPで比較することによってマウスの移動量を検出する、「インテリアイ」と呼ばれる技術を採用している。マウスの接地面のごくわずかな凹凸を読み取って移動量の検出を行うため、従来の光学式マウスのように専用のマウスパッドを必要としない。当然ながら、一般のマウスのように、ボールに付着したゴミによってマウスの動作が鈍るといったこともないため、内部の掃除も不要だ。

機能を割り当てられる  
ファンクションボタンを装備

IntelliMouse Explorer には、左側面に親指でクリックするボタンが2つ追加されている。このボタンには標準でブラウザの「進む」ボタンと「戻る」ボタンの機能が割り当てられており、インターネットエクスプローラやネットスケープコミュニケーターで利用できる。また、これらのボタンはカスタマイズも可能で、「コピー」や「貼り付

け」など、好きな機能を選択して割り当てられる。もちろん、スクロールホイールもクリックができ、このボタンもカスタマイズできる。

PCとの接続インターフェイスはUSBを採用しているが、付属の変換コネクタを利用すればPS/2 マウスポートにも接続できる。

## 試用レポート

① どのような素材の上でも  
スムーズな動作

実際にオフィス机や、雑誌の上、マウスパッドなどいろいろな平面上でIntelliMouse Explorerを利用してみたいところ、どのような平面上でもマウスポインターはスムーズに動作した。ただし、ガラスやプラスチックなど、光が透過してしまう表面では移動量がうまく検出されず、マウスポインターが正しく動かないこともある。

また、左側面に追加された2つのボタンは、ウェブページを見る際に非常に役に立つ。ボタンをクリックするだけでブラウザの操作ができるのはかなり快適だ。一度ホイール付きのマウスを利用すると、ホイールのないマウスが使いにくく感じられるように、IntelliMouse Explorerのファンクションボタンに慣れてしまうと、従来のマウスでブラウザを操作するのが面倒に感じるだろう。IntelliMouse Explorerは店頭予想価格が9,800円と、マウスとしては非常に高価だが、その価格に見合うだけの価値がある製品だ。  
(編集部)

# IPPに対応したプリンター直結型プリントサーバー JetLAN 3100

**Check!**

IPPなど主要な印刷プロトコルに対応  
コンパクトなボディーのプリンター直結型  
10BASE-T/100BASE-TXデュアル対応

軽量でコンパクトなプリンター直結型ながら、他に引けをとらない高機能を誇るプリントサーバー「JC-CONNECT JetLAN 3100」が発売された。マルチOS環境のネットワークでプリンターを簡単に共有できる便利な小箱だ。

## 最新プロトコルIPPに対応

IPP( Internet Printing Protocol、RFC 2567他)は、従来のLPDやウィンドウズが採用してきたSMB、またマッキントッシュのAppleTalkなどに代わる標準のネットワーク印刷プロトコルとして提案されたものだ。すでにマイクロソフトがウィンドウズ2000に搭載することを決め、HP社も採用したことから、将来的にはIPPが標準の印刷プロトコルとして使われるようになる可能性が高い。IPPはTCP/IPをベースにしたプロトコルで、プリンターのステータスの設定や管理がすべてブラウザででき、また印刷ジョブもインターネットのどこからでも実行できる。たとえば、出張先から会社にファックスを送る代わりに、IPPを使って直接プリンターに印刷できる。つまり、インターネットに常時接続したネットワークではファックスの代わりにもなる便利なプロトコルなのだ。

## マルチプロトコルでマックにも対応

プリンターポートがUSBに統合されたiMacやPowerMac G4などでプリンターを共有する場合でも、AppleTalkに対応する(対応プリンター一覧は  を確認のこと)。LinuxなどのUNIX系OSでの印刷にはLPDに対応し、漢字コードの変換機能も備えている。ほかにも、POPを使ったメールの印刷や、プリンターのエラーをメールで

知らせる機能、SNMPにDHCPクライアント機能など、多機能ぶりはとどまるどころを知らない。ウィンドウズからは、付属のLPDドライバーから印刷でき、NetBEUIベースではMaster Browse機能を搭載しているため、ネットワークプリンターとしても簡単にインストールができる。

 [www.jci.co.jp/products/jetlan31.html](http://www.jci.co.jp/products/jetlan31.html)

## 試用レポート

### ① 簡単、高機能がラクに使える

NetBEUIによる接続と、TCP/IPのIPPを使った印刷を試した。インストールは専用のユーティリティ( JetLAN User Software)で行うが、設定はウィザード形式なので簡単だ。IPPを使う場合はプリンターの場所が「http://(プリンターのアドレス)/ipp/lp」とURLで表現されるところがポイントだ。いったんIPアドレスが設定できれば、プリンターのステータスの確認や設定はすべてブラウザから可能となる。なお、マッキントッシュ用の設定ツール「JetLAN Setup」も付属するほか、telnetを使ってログインしての設定も可能。どんなOSユーザーでも使えるプリントサーバーだ。

### ② 高機能をチョイス

プリンター直結型で定価39,800円を高いと感じるユーザーもいるかもしれない。だが、これだけの機能を実現したプリントサーバーはあまり見かけない。あえて挙げるとしたら、HP社のJetDirect 500X(64,800円、3ポート)ぐらいしかないだろう。ポート数が異なるため単純な比較はできないが、

発売元	日本コンピュータ工業株式会社
価格	39,800円
問い合わせ先	03-3455-5155
本体寸法	W62mm x D85mm x H23.5mm
重量	80g
付属品	CD-ROM、ACアダプター、保証書

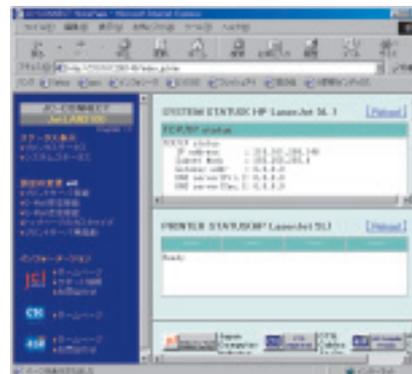
 [www.jci.co.jp](http://www.jci.co.jp)



コンパクトながら、2Mバイトのメモリーを搭載。自社開発の32ビットRISC CPUで高速印刷が可能だ。イーサネットは100BASE-TX Full/Half Duplexに対応する。



ウィザード形式でインストールが可能。インストール後は、専用ユーティリティがブラウザで設定できる。



ブラウザで設定を管理できる。日本語と英語の両方のページがある。

手軽な価格でIPPなどの最新機能を使えるプリントサーバーであると評するほうが妥当だろう。高機能なプリントサーバーを必要とするマルチOS環境のユーザーや企業ユーザーにおすすめしたい。(梅垣まさひろ)

発売元	カシオ計算機株式会社
価格	56,000円
問い合わせ先	03-5334-4828
本体寸法	W961mm x D391mm x H144mm
本体重量	6.7kg
OS	ウィンドウズ95/98
CPU	Pentium 100MHz以上 (166MHz以上推奨)
HDD	最低70MB以上の空き容量
メモリー	16MB以上

Jump www.casio.co.jp/ilana/LK/

次に押さえる鍵盤が光るので、電子キーボードの経験のない人でもすぐに演奏ができる。



# インターネットからダウンロードした曲を練習できる電子キーボード 光ナビゲーションキーボード LK-01PC

## Check!

「光る鍵盤」を追いかけて曲を練習できる  
初心者でも安心な3段階のレッスン機能  
最新ヒット曲など約4000曲が購入可能

「LK-01PC」は、インターネットからダウンロードした曲を練習できる電子キーボードだ。「@nifty」のMIDIデータ配信システム「LANA Online City」で提供している約4000曲の中から、好きな曲データを購入して、レッスンできる。

「光る鍵盤」を搭載

カシオの「光ナビゲーションキーボード」は、鍵盤が光って内蔵曲の練習をガイドしてくれる、初心者に人気の高い電子キーボードだ。新曲が入ったモデルが毎年出ており、今回の「LK-01PC」は、「First Love」や「だんご3兄弟」といった今年のヒット曲をはじめとする120曲が内蔵されている。3段階のレッスン機能や、指使いなどを表示するバックライト付き液晶画面も装備しており、単体で使用しても十分楽しめる。

ダウンロードはパソコンで

「LK-01PC」の最大の特徴は、インターネットに対応し、練習できる曲を一挙に約4000曲まで拡大した点だろう。インターネット対応といっても、電子キーボードをネットワークに直結するわけではなく、曲データの購入は付属のソフトを使ってパソコンで行う。ソフトはウィンドウズ用で、「LANA Online City」から1曲あたり200円で好きな曲データをダウンロードできる。ただし、購入には@niftyのIDが必要だ。

内蔵曲と同様に練習できる

付属のケーブルでパソコンのシリアルポートと電子キーボードのCOMPUTER端子を接続し、ダウンロードした曲データをパソコンで再生すれば、キーボード内蔵曲と同じように鍵盤を光らせて練習できる。

## 試用レポート

### ① ブラウザーを使った簡単操作

スタートメニューから「Internet LANA」を選ぶと、HTML形式のメニューがブラウザで表示される。インターネットへの接続は曲データの購入時のみだが、曲データの再生などオフライン時の操作もすべてブラウザで簡単に操作できる点は高く評価したい。

### ② 初心者に優しい「3ステップレッスン」

どの鍵盤を押しても正しいメロディーが流れる「ステップ1」から、正しい鍵盤を押すまで伴奏が待ってくれる「ステップ2」に進み、「ステップ3」で演奏をマスターするシステムは非常にわかりやすい。ポカール曲なら歌詞を表示することもでき、電子キーボード側にマイクを接続すればカラオケも楽しめる。

次々に光る鍵盤を押さえていく練習スタイルはゲームに似た感覚で、演奏経験がない人でも抵抗なく始められるだろう。本誌の付録CD-ROMに収録した体験版ソフトは、パソコンだけでも操作できるので、試してみるといいだろう。

(編集部)



再生ソフト「インターネット光ナビ」。パソコンのキーボードを鍵盤代わりに使って練習もできる。



付属ソフトのメニュー画面。曲データの購入から再生ソフト「インターネット光ナビ」の起動まですべてブラウザで操作できる。

素材作りからページ編集、サイト管理までをトータルにサポート

# ホームページビルダー 2001

Check!

ロールオーバー、文字アニメーション作成機能の搭載  
カスケーディングスタイルシート(CSS)のサポート  
リンクチェックなどサイト管理機能の強化

日本IBMから、「ホームページ・ビルダー2001」が発売された。以前から操作性の良さと定評のあったホームページ・ビルダーだが、新バージョン「2001」はさらにパワーアップ。ロールオーバーや文字アニメーションなど、ウェブページ作りに力を発揮する数多くの新機能を備えている。

インパクトのあるウェブページを手軽に作成

初心者向きといわれるウェブページ作成ソフトは、操作は簡単だが、機能に制限があるのが一般的だ。だが、ホームページ・ビルダーにはそうした常識は当てはまらない。分かりやすいインターフェイスを持ちながら、最新技術を使ったインパクトのあるウェブページを手軽に作成できるのだ。

最新バージョンの「2001」では、そうした特徴にいつそう磨きがかかり、ロゴや画像にマウスが重なると絵が変わるロールオーバーを作れるようになった。ホームページ・ビルダーには、以前のバージョンから画像編集ツール「ウェブアートデザイナー」が付属している。ロゴやロールオーバーはこのウェブアートデザイナーで作るのだが、ページ編集画面でも作ることができる。

また、「ウェブアニメータ」というアニメーションGIF作成ツールも付属している。これを使えば、スクロールやグラデーションなどの視覚効果をつけた文字アニメーションを作成できる。しかも、作ったアニメーションを最適化して、ファイルサイズを小さく抑えることもできる。

前バージョンで対応したカスケーディングスタイルシートは、さらに使いやすくなり、テンプレートをページ上にドラッグするだけ

で、編集中のサイトやページにスタイルを適用できる。また、「ProTALKER 97」に対応し、しゃべるホームページも作れるようになった。インターフェイスは前バージョンと同じだが、機能面を見る限り、まるで別のソフトといってもいいくらいの変り様だ。

## 試用レポート

① あっという間にロールオーバーの完成

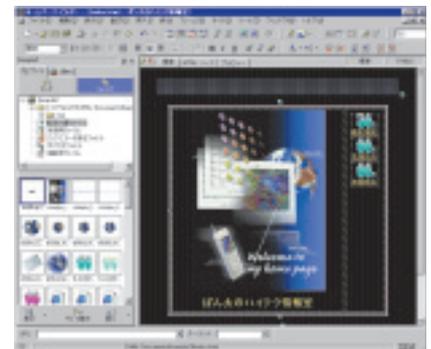
ロールオーバー効果には、マウスポインターを重ねたときに画像を入れ替えるJavaScriptのプログラムが必要だ。しかし、このプログラムは誰にでも作れるものではない。ホームページ・ビルダー2001を使えば、ロールオーバー効果を付けたい画像を右クリックして、ショートカットメニューから「画像のロールオーバー効果の挿入」を選ぶだけで作成ができる。あとはウィザードに従って、質問に答えていくだけで。

通常、ロールオーバー効果には画像が2つ必要だが、ホームページ・ビルダー2001は1つだけでも作成できる。モザイク、ズーム、エンボス、影など15種類の効果が用意されていて、マウスを重ねたとき、または離れたときに選択した効果付きの画像を表示するように設定できるからだ。この機能を利用すれば、ロールオーバーボタンを誰でもあっという間に作れてしまう。

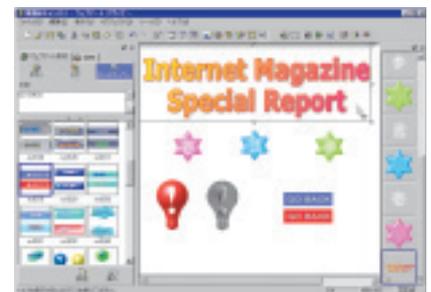
また、情報が増えてくるとやっかいなのが、HTMLファイルや画像ファイルの管理だ。ホームページ・ビルダー2001を使えば、サイト一覧ダイアログで作成日、更新日、サイトのサイズを確認できるなど、サイト管理も容易にできる。

発売元	日本アイ・ビー・エム株式会社
価格	14,800円
問い合わせ先	0120-04-1992
OS	ウィンドウズ95/98、NT4.0
HDD	最低50MB以上の空き容量
メモリー	32MB以上

Jump [www.ibm.co.jp/software/internet/hpb/](http://www.ibm.co.jp/software/internet/hpb/)



ツールバーに並ぶボタンをクリックするだけで、ほとんどの機能を実行できる。ウィンドウ左には、ページ中で使う素材やサイト情報が表示される。



付属のツール「ウェブアートデザイナー」を使えば、ロゴやバナー、ロールオーバーボタンも簡単に作れる。

ページ作成からサイト管理まで、ホームページ・ビルダー2001は、多彩な機能を持っている。ウェブページ作りのプロもうかうかしてられない強力なソフトだ。( 藪 暁彦 )



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)